



# 学研模試見直しプリント

松江北高英語科 3 年部

*Strike the iron while it is hot.*

## 1 リスニング問題 《難》

Part1、Part2 とも「センター試験」の第 4 問と同じ形式。最も難しいとされる問題。まず始まるまでに、各設問は必ず目を通しておく。さらに余裕があれば選択肢にまでザッと目を通しておくと、今から何の話が展開するのかが予想できる。このようにリスニングは「待ち受け」ができるかどうかで結果が大きく変わってくる。東大など、二次試験のリスニングも同様。試験が始まってから問題を開けるようでは高得点は望めない。設問と問題文の流れは一致しているので、順に聞いていけばよい。

## 2 長文読解問題～評論文 1 《標準》

### 問 1 熟語の問題

- (a) **take A for granted** (当たり前と思う) の A が something となって前に出ている。
- (b) **in addition** (さらに) =moreover
- (c) **up to** ～ (～まで) **up to** the age of fourteen (14 歳まで)
- (d) **on the other side of...** (…の反対側に)
- (e) 《難》 **with badly equipped classrooms** and **untrained teachers** (A と B を持った) という所有の **with** (A) (B)

問 2 it wasn't until the late 1870s that laws (～して初めて…) の構文。

### 問 3 説明問題は直後を見るのが鉄則。

- ① reformed the schooling system further by providing equal educational opportunities for boys and girls 少年少女に教育の機会均等を与える学校改革
- ② changed teaching approaches to incorporate students' individual ages and abilities 生徒個人の年齢・能力を組み込んだ教授法の改変

問 4 《難》 公式の学校はほとんど存在していなかった。→④「義務教育制度が定着するまでには何世紀もかかった」

大多数の女子や若い女性の教育は主に家内工芸を学習することだった。→①「男の子や若い男性が受けた学問内容に触れることはほとんどなかった」

この最初の 2 つが決まった段階 (④→①) で、解答はエだと分かる。ずるいやり方。

### 問 5 《難》 内容一致問題 ※波線部が誤り

- (1) イギリスでは長い間教師も親も公教育の必要を感じなかった。×
- (2) 教育の初期の時代には、少女たちは牧師にはならなかった~~ので学校へは行かなかった~~。×
- (3) 教師は怠惰なまたは不注意な生徒には厳しい罰を与えることがあった。○[3 段落]
- (4) イギリスで義務教育が始まってから 100 年足らずである。×
- (5) 18 世紀の後半および 19 世紀の初めには、アメリカの教育はイギリスの教育よりもはるかに進んでいた。×
- (6) 今日では、デューイの主張は無価値であると考えられて無視されている。×
- (7) 今日、教えられるべきことは社会と学習者の必要の観点から点検される。○[7 段落]

### 問 6 英文和訳問題

- (A) Few formal schools existed, and, therefore, (were) reserved for children of the wealthy.  
 ほとんど～ない 公式の学校 存在した したがって としておかれた 公式の学校 子供ののために の 存在した とても高価だった 金持ち

the+形容詞=～の人々

### (B) Teachers must be fully trained

- 教師 ねばならない 十分訓練された  
 and schools are required to follow government guidelines that specify  
 学校 要求される 従う 政府の指針 指定する

which subjects should be taught in which grades.  
 どの教科 教えられるべき どの学年で

重要

## 3 アクセント・文法・語法問題

### (A) アクセント問題 ～出題される語は決まっている！

- (1) pattern「パターン」 hotel「ホテル」などのカタカナ語に注意すること。
- (2) event「イベント」 volume「ボリューム」 parade「パレード」がカタカナ語の出題。日本語につられるな！出題者の狙いもそこにある。⇒「頻出カタカナ語リスト」&ジェーンCD
- (3) percentage「パーセンテージ」 interview「インタビュー」 uniform「ユニフォーム」 mechanism「メカニズム」全部がカタカナ語の出題。 **カタカナ語には要注意！**
- (4) volunteer「双子の法則」 dramatic「イクイクルール」
- (5) communicate「-ateで終わる語は 2 つ前が強い」 economic「イクイクルール」
- (6) 《難》④ spiritual は第一音節が強い deliberate「-ateで終わる語は 2 つ前が強い」

### (B) 文法・語法問題 《勉強の仕方》自分で声に出して「なぜ？」を解説するとよい

- (1) a question whether (～かどうかという疑問)
- (2) get+O+to V 数ある使役動詞の中で後ろに to V を取るのは get だけ。
- (3) whatever comes into your mind (心に浮かぶものは何でも)
- (4) As the singer was asked so unexpected a question by the reporter, the singer started laughing.を分詞構文にすると「消す消す-ing」で Being asked...となる。文頭の Being は省略されて Asked...
- (5) would have been happy (嬉しかっただろうに) 仮定法過去完了
- (6) of + value = valuable of + 抽象名詞 = 形容詞
- (7) begins 副詞節ルール「副詞節では未来のことでも現在形」
- (8) in place of.. (～の代わりに)「青年が父の代わりに出席している」

### (C) 誤文訂正問題

- (1) remember to V と remember V-ing の意味の区別ができていないか。過去のことに使えるのは？
- (2) What do you think of...? (～をどう思いますか) の「どう」につられて how としない。
- (3) he was taken care of 熟語 take care of (世話をする) を受け身にしても of は残る。
- (4) with tears running down her cheeks (頬に涙を流しながら) 今涙が流れているから running
- (5) 《難》 what was the price of the pot? (いくらですか) と聞くときは what is the price? × how much is the price?

4 長文読解問題～評論文2《難》

問1 《難》 意味内容が分かっていないと答えられない問題—読解問題だ！  
① some scientists argue that [1] and that [2] 2つの目的語[1][2]を that が導く  
② A, while B 「A ところがもう一方では B」  
③ Moreover 「さらには～」前の問題点に付け加えている  
④ unless ... 「～しない限りは」

問2 単語の意味を問う問題 難しい単語ばかりだが前後関係から類推する  
(a) ultimate (究極の) → maximum (最大限の)  
(b) attributed to ～ (～に帰する) → due to ～ (～のせいで)  
(c) muscled out of ～ (～から力づくで追い出される) → driven out of ～ (追い出される)  
(d) ease (和らげる) → lighten (軽くする)

問3 (1) 過去における恐ろしい予測が何度もはずれたために、その主張が生き残った  
ようだ→それを言い換えているのはA  
(2) 問題なのはエネルギーの使われ方であって、単に人の数なのではない。→それを言  
い換えているのはイ

問4 《難》「指示語の問題は直前を見る」が鉄則。it's unarguable that these problems are real and  
serious, and happening now (これらの問題が現実であり深刻で、今起こりつつあることは間違  
いない) とあるのが解答部分。下線部が一体何を指すかはさらにその前を見る必要があ  
る。「地球温暖化問題」the spectre of global warming 「水資源・食料資源への圧迫」 the  
pressure on water and food resources 「動植物の絶滅」sharp phase of mass extinctions の3つ  
が書かれている。それを字数でまとめる。「～こと」の末尾にも注意。

問5 《難》 英文和訳問題  
ダッシュにはさまれた部分は飛ばして読め！  
(A) the world is already — right now — facing manifold serious, and potentially disastrous,  
世界 すでに まさに今 直面している 多面的に 深刻な 潜在的に破滅的な  
problems which can be directly attributed to the pressure on the earth's resources.  
問題 直接 原因とされる 圧力 地球資源への  
=how  
(B) 《相当難》The problems are as much to do with the way the world's resources are used  
問題 同じほどの 関係がある 方法 世界の資源が使われる  
as they are (much to do) with a simple equation  
関係がある 単純な等式  
between population numbers and resource capacity  
間の 人口数 資源容積  
【ポイント】人口増加と資源の最大容積との間の単純な等式(これが何を言っているか分かるか?)ともこ  
れらの問題は密接に関係があるが、同様に資源の使われ方とも大いに関係があるのだ、と言っている。

こんなふうに分解して読もう!

5 作文問題 ～まぐれで正解は絶対はない！

(A) 語句整序問題 ～小さくつないで大きくまとめる  
⑨次の8つのセットが組めないかどうかを視点にして解くべし！

①「主格代名詞・名詞+V」のセット (例: He suggest <u>s</u> など) ⑩動詞を決めてから主語へ
②「所有格(one's)+名詞」のセット (例: <u>his</u> bookなど)
③冠詞(the/a/an)+名詞」のセット (例: <u>the</u> book/ <u>a</u> book/ <u>an</u> orangeなど)
④「前置詞+〔代〕名詞」のセット (例: <u>on</u> the deskなど) ※前置詞の後には名詞が来る
⑤「前置詞+動名詞(V-ing)」のセット (例: <u>on</u> goingなど) ※前置詞の後には名詞が来る。動詞を続けるには-ing (動名詞) にして名詞化
⑥「助動詞+動詞の原形」のセット (例: <u>must</u> go, <u>can</u> playなど)
⑦「to+動詞の原形」のセット (不定詞) (例: <u>to</u> goなど) ※前置詞の to と区別
⑧「接続詞/関係詞/疑問詞 S+V」のセット (例: <u>while</u> S+V <u>where</u> S+V など)

- (1) focus on what they should say to ⑥  
(2) not eating breakfast is likely to make our memory poorer ⑦ 《難》  
(3) due to the fact that they are taught computer skills ④  
(4) a decision without knowing the way we have reached it 《難》 ⑤  
(5) may not have developed solely as a means of communication in that ⑥ ④ ④ ...という点で  
(6) shows nearly nine out of ten young people are so shortsighted as to use... ⑦  
(7) Increasing fuel prices make it hard for many people to depend on cars... 《難》 ① ④ ⑦ ④



(B) 英作文問題  
※いかに簡単な英語で書くかが力の見せ所。  
(1) The boy's father often told him not to give up whatever might happen.  
The boy was often told by his father not to give in under any circumstances.  
(2) He also felt that the efforts would not always be rewarded no matter how hard he tried.  
He was also afraid that their efforts might not always get good results however hard they tried.